

受託事業

I 歴史関連事業及び歴史関連施設の管理運営の受託

1 本館管理運営

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

2 たてもの園管理運営

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

3 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館278名、分館203名体制により、本館では9,624件のガイド、分館では茅葺き農家の燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成21年3月31日現在）

展示ガイドボランティア229名

ふれあいボランティア49名（この他、展示ガイドとの兼任46名）

合計278名

② 活動日時

火曜日～日曜日（開館日） 10:00～16:00

毎日15人程度のグループで活動

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール語、スペイン語、ロシア語

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成20年4月～21年3月）

外国語による案内件数 3,866件

日本語による案内件数 5,576件

団体事前案内件数 112件

下見（実踏）の案内件数 6件

子ども相談対応 13件

- スポット解説 51件
- ⑤ ふれあい体験教室
ふれあい体験教室実施数 54件
ふれあい体験教室参加者数 2,142人
- ⑥ ボランティア対象の研修
研修実施回数 22回
研修参加者数(延べ人数) 833人

ふれあい体験教室 実績一覧		
日程	内容	人数
4月5日	和算のひみつ	57
4月19日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	60
4月27日	藍染め体験	50
4月27日	歴史散歩「本郷と三四郎」	24
5月3日	和算のひみつ	67
5月3日	みんなで遊ぼう！昔遊び(両国春祭り)	120
5月4日	万華鏡をつくろう	44
5月5日	ときめきキモノ体験	38
5月31日	皁月体験茶席	25
6月7日	和算のひみつ	49
6月8日	歴史散歩「谷中寺町」	23
7月21日	ときめきユカタ体験	51
7月26日	和算のひみつ	109
7月27日	藍の生葉染め体験(こども、ハンカチ)	17
8月2日	歌舞伎隈取体験	11
8月3日	ときめきユカタ体験	53
8月3日	ぎやまん彫りに挑戦しよう	20
8月9日	和算のひみつ	58
8月16日	和算のひみつ(臨時)	48
8月23日	ときめきユカタ体験	44
8月23日	“すりこぎとんぼ”をつくろう	30
8月24日	万華鏡をつくろう	47
8月24日	浮世絵摺り体験	23
9月6日	和算のひみつ	50
9月19日	藍の生葉染め体験(大人、ストール)	14
9月28日	歴史散歩「滝野川周辺の名所を歩く」	24
10月4日	和算のひみつ	43
10月19日	藍染め体験	50

11月1日	霜月体験茶席	46
11月1日	風車をつくろう	50
11月1日	和算のひみつ	58
11月1日	(臨時) 万華鏡をつくろう	5
11月1日	(臨時) 両国散歩	8
11月1日	(臨時) ときめきキモノ体験	45
11月7日	江戸切子体験	19
11月8日	江戸切子体験	22
11月9日	江戸切子体験	24
11月16日	ときめきキモノ体験	28
11月29日	歌舞伎の隈取(化粧)体験	14
11月30日	歴史散歩「大名小路(丸の内周辺)」	25
12月6日	ぼち袋をつくろう	30
12月13日	師走体験茶席	27
12月13日	和算のひみつ	50
1月10日	ときめきキモノ体験	20
1月10日	和算のひみつ	50
1月31日	節分の鬼をつくろう	80
2月7日	和算のひみつ	63
2月14日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	50
2月15日	ぎやまん彫りをしよう①②	17
2月21日	浮世絵をくみたてよう	40
2月21日	如月体験茶席①②	26
3月7日	和算のひみつ	39
3月14日	ときめきキモノ体験	34
3月21日	歴史散歩「江戸東京博物館常設展示室見学と両国史跡散歩」	23

(2) たてもの園ボランティア

① 登録人数(平成21年3月31日現在)

- 正規ボランティア「ひじろ会」 203名(女性78名、男性125名)
火曜日班34名、水曜日班38名、木曜日班33名、金曜日班32名、
土曜日班35名、日曜日班31名
- 臨時ボランティア 28名

② 活動日時

火曜日～日曜日及び臨時開園日 9:45～17:00

(10月から3月は16:00まで)

③ 活動内容

- 正規ボランティア

茅葺き農家の燻煙と周辺整備… 4棟（吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、
綱島家）

案内ガイド（団体・見所案内・建造物ごと・定時）

たてもとの園事業への参画（催事の企画・実施、学校連携事業、年中行事等）

自主活動の実施（写真場での撮影、藁細工、風車作り、紙芝居、盆栽、農園作業等）

○ 臨時ボランティア

催事の支援

正規ボランティアの活動支援

④ 対応件数等

茅葺き農家の燻煙と周辺整備（休園日を除き毎日）

団体案内ガイド 202件 5,455人

ボランティア自主活動 21種 812回

⑤ その他

正規ボランティアは9回の勉強会と、日光東照宮への見学会など3回を企画・実施した。

4 資料収集

(1) 本年度は昨年に引き続き、常設展・特別展・企画展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営を図れるよう、資料購入を行った。

また寄贈資料についても申出の中から厳選して、収集している。

第1回収蔵委員会（10月31日）では購入資料を中心に付議し、第2回収蔵委員会（1月30日）では、寄贈資料を中心に付議した。

20年度収集委員会付議点数 (単位：点)

区分	購入	寄贈	その他	計
標本資料	47	1,698	55	1,800
図書資料	656	0	4,106	4,762
映像音響資料	0	71	0	71
合計	703	1,769	4,161	6,633

(2) 主な収集資料

分類	資料名	入手方法
工芸品	練草本小札濃勝糸絨二枚胴具足	購入
工芸品	紅縮緬地菊牡丹木目模様打掛	購入
工芸品	梨子地唐菊草葵紋散蒔絵薬箆筒	購入
工芸品	黒塗牡丹唐草蒔絵女乗物雛道具	購入

工芸品	吉野山蒔絵文台・硯箱	購入
絵画	雪月花 隅田・淀川・吉野	購入
絵画	咲分け言葉の花 おかみさん	購入
絵画	通俗水滸伝豪傑百八人之内	購入
絵画	東都日本橋行列図	購入
絵画	初世中村鴈治郎の茜半七（梨園の華）	購入
絵画	初世中村鴈治郎の茜半七（梨園の華）	購入
絵画	秋晴	購入
絵画	新版画	購入
文書類	徳川家関係城館図屏風	寄贈
文書類	江戸江発足日記帳（酒井伴四郎日記）	寄贈
文書類	徳川慶喜上書ほか	寄贈
文書類	萩野家文書	寄贈
生活民俗	明治末から昭和前期の学習資料など	寄贈
生活民俗	東京オリンピック関係資料	寄贈
生活民俗	夏目漱石の鞆	寄贈
生活民俗	昭和前期の婚礼調度・裁縫道具	寄贈
生活民俗	半纏型紙	寄贈
生活民俗	昭和中～後期の電化製品・玩具	寄贈
静止画	GHQによる接收候補地調査空撮写真	寄贈
絵画	東海道五拾三次（保永堂版）	寄託

5 資料制作

(1) 複製資料

- ①資料名 龍文染付水注
点 数 2点
説 明 八王子城出土品。全国的に類品がなく、極めて珍しい資料であるが、破片として現存。江戸東京たてももの園と八王子郷土資料館で分蔵している破片を持ち寄り、全体像を復元し、完成した復元品をもとに複製制作した。
- ②資料名 三越呉服店ポスター
点 数 3点
説 明 1900年以降、欧米における商業サービスの輸入により、都市の市民生活と商業のあり方は転換期を迎えた。本資料は、三越が呉服店から百貨店へ転身を図るため、広報を重点的に打ち出したことを示す好資料。常設展「モダン東京」コーナーで展示予定。
- ③資料名 髪結い雛形
点 数 10点

- 説明 江戸時代、日本髪（日本髪）の結髪は数百種に及んだといわれる。結髪（結髪）の形は、時代、地域、年齢、職業、身分、未婚・既婚の別などで違いがあった。常設展の江戸ゾーンで展示予定。平成19年度は、江戸の成人女性の身分別、時代別の髪結い雛形（雛形）を制作し、今年度は、こども、明治時代以降の髪型を制作した。これにより、系統立てた展示が可能となった。
- ④資料名 十二月年中江戸風俗絵巻（上巻）
- 点数 1点
- 説明 紀州藩の江戸詰め御用絵師で狩野派の門人、山本養和の作。正月から十二月まで各月の江戸市中の年中行事、風俗を描いている。当資料の内容から展示活用頻度が高く、原資料保護の観点から制作した。

6 資料管理・保全

(1) 資料の修理

90件（276点）の修理を行った。

【内 訳】

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標本資料	89	179	図書資料	1	97
絵画	27	107	図書	1	97
工芸品	5	15			
古文書類	52	52	映像音響資料	0	0
書跡	3	3	映像	0	0
生活民俗	2	2			

(2) 資料の収蔵

平成21年3月末日現在、539,045点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本・映像音響資料 336,754点

図書資料 202,291点

(3) 資料の貸出

平成21年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、29件（433点）の資料を貸出した。

(4) 収蔵庫の棚卸し

平成20年度は、歴史収蔵庫、生活民俗収蔵庫4、考古収蔵庫保管の188,492点の資料の確認作業を行った。

(5) 寄託資料の更新

8件、20,782点の寄託資料の更新を行った。

(6) 資料目録の作成

収蔵資料の錦絵の目録「東京都江戸東京博物館資料目録 錦絵（目録編）」を1,000部作成した。

7 常設展示

江戸東京博物館5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的に展示替えを計24回行った。常時約2,000点の資料を展示するとともに、企画展や常設展示各コーナーで開催する特集を実施している。その際、展示資料の管理、温湿度等展示環境の維持を行っている。さらに、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催している。また、外部機関と協力し、企画展「熱き心展～寛斎元気主義～」展、「発掘された日本列島2008」展、「浅草今昔」展、「徳川将軍家ゆかりの女性」展を開催した。

(1) 企画展 7回

名 称	会 期	会 場
「熱き心展～寛斎元気主義～」	4月15日(火)～7月6日(日)	第2企画展示室
「発掘された日本列島2008」	7月19日(土)～8月31日(日)	第2企画展示室
「浅草今昔」	9月14日(土)～11月16日(日)	第2企画展示室
「市民からのおくりもの ～平成19年度収集新収蔵品から」	11月22日(土)～12月21日(日)	第2企画展示室
「徳川将軍家ゆかりの女性」	12月2日(火)～1月25日(日)	6階常設展示室
「絵にみる春夏秋冬展 ～江戸東京の一年～」	1月2日(金)～2月15日(日)	第2企画展示室
「えどはくでおさらい!江戸時代」	2月24日(火)～3月22日(日)	第2企画展示室

(2) 特集 3回

名 称	会 期	会 場
「江戸の華～火消しと祭り」	3月27日(木)～7月6日(日)	6階常設展示室
「浅草六区」	9月14日(土)～11月16日(日)	5階常設展示室
「錦絵にみる忠臣蔵展」	9月30日(火)～12月21日(日)	5階常設展示室

(3) 常設展の賑わい・楽しさの演出

①「えどはく寄席」(毎土・日曜日、祝日の12:00~12:30、13:30~14:00)

客数：34,779人

中村座前で、落語、新内、相撲甚句、かっぱれ、女義太夫、邦楽などを実演し、伝統芸能の継承・普及と若手芸人の育成を図る。

②正月の催し

期間：平成21年1月2日(金)~1月7日(水) (1月5日は休館)

客数：4,045人(うち人形芝居569人)

獅子舞、落語など正月らしいパフォーマンスを5階常設展示室・中村座前と1階ロビー等で行うほか、からくり実演、箏曲演奏等を実施。また1月6日には、日本児童・青少年演劇団協同組合の協力で人形劇を2回興行し、合計569人の参加を得た。

③ミュージアムトーク(毎週金曜の16:00~16:30)

回数：計51回

参加者数：1,420人

学芸員による展示解説。企画展や特集などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介する。

常設展観覧者実績

区分	平成20年度(B)	対前年比(A/B)	平成19年度(A)
一般	358,505人	99%	363,156人
学生	29,579人	100%	29,466人
高校生、都外中学生	58,766人	101%	58,183人
65歳以上	98,854人	105%	94,200人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	328,608人	96%	342,645人
合計	874,312人	98%	887,650人
1日あたり観覧者数	2,776人	100%	2,783人

8 コンピュータシステム(資料情報システム)の運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(情報システム)の管理及び運用を行う。

平成19年度及び20年度の2年間で、基本ソフトをOS2からWindowsに変更し、あわせてシステムのリニューアルを行った。

9 AVシステム(映像音響システム)の運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京

に関連する映像ソフトを提供した。

今年度は、「映像ライブラリー」を地下1階から7階に移転し、利用者の利便性を高めた(移転工事に伴い、平成20年11月17日～12月15日まで閉室した)。

(1) 映像ホール

上映回数	1日8回(土曜日9回)上映
入場者数	32,643人(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台(14人利用可)
映像ソフト数	400タイトル(平成21年3月31日現在)
入場者数	10,277人(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(3) 収蔵庫からのメッセージ

設置台数	5台
映像入力数	38,683枚(内24,995枚公開)(平成21年3月31日現在)

(4) Web版収蔵庫からのメッセージ

映像入力数	20,141点(平成21年3月31日現在)
-------	-----------------------

10 図書室の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

また、地下1階より移転した映像ライブラリーとの一体化に伴う開架空間の大幅な拡張を実現するとともに、開館以来初めて2週間の閉室期間を設定し、大規模な棚卸作業、開架書籍の入替えなどを実施した。

(1) 図書室利用状況

入室者数	37,170人(平成20年4月1日～平成21年3月31日、以下同)
閉架図書請求	3,313冊
マイクロフィルム請求	615件
図書複写	16,601枚
マイクロフィルム複写	5,844枚
レファレンス	2,318件
インフォメーション	1,203件
利用者数	40,691人(入室者数+レファレンス+インフォメーション)

(2) 図書室への招待席

図書室が所蔵する図書の魅力を直接伝える講座を開催し、図書室利用者の増進に寄与した。

講座名	開催日	講師	参加人数
町の歴史	4月24日(木)	高山慶子(講師)	89
江戸の教育	9月3日(水)	石山秀和(講師)	43
幕末維新期に日本を訪れた外国人の記録	12月18日(木)	市川寛明(学芸員)	63
お武家さんの名前を調べる	平成21年2月26日(木)	田原昇(講師)	101

(3) 夏休み子ども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 7月19日(土)～8月31日(日)

1.1 野外収蔵(分館「江戸東京たてもの園」)

平成21年3月31日現在、27棟を公開している。

なお移築対象建造物の復元工事は東京都の直接工事ではあるが、万徳旅館・土井邸の復元設計、展示調査委託、また、三島邸の復元設計にそれぞれ協力をした。

(1) 入園者実績

区分	平成20年度(A)	対前年比(A/B)	平成19年度(B)
一般	95,163人	91.1%	104,513人
大学生・専門学校生	9,331人	90.0%	10,364人
高校生、都外中学生	2,779人	90.1%	3,086人
65歳以上	26,657人	89.4%	29,807人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、教育活動等)	100,420人	91.0%	110,294人
合計	234,350人	90.8%	258,064人
1日あたり観覧者数	749人	90.6%	827人

(2) 特別展

今年度は、開園15周年を記念して「日本の建物」シリーズの展覧会を行った。

①第一部「木造建築の魅力」

期 間 平成20年3月28日(金)～6月1日(日)

内 容 建築を造り上げる技術と創意工夫、豊かな森林資源を賢く利用した日本の伝統

建築から現代建築まで木造建築の特徴と魅力を紹介。

入園者 72,058人(内、平成20年度分は62,695人)

②第二部「建物と夏」

期 間 平成20年7月1日(火)～8月31日(日)

内 容 日本の夏の暑さをしのぐ涼の工夫など、建築に見る先人の知恵や現代の果敢な試みを紹介し、実り豊かな未来の住環境について考える。

入園者 36,492人

③第三部「日本の建築博物館」

期 間 平成20年9月13日(土)～12月7日(日)

内 容 日本各地の建築博物館の多彩な活動や景観保存の取り組みを紹介し、日本の豊かな建築文化を残していく重要性について考える。

入園者 61,000人

④第四部「建物のカケラ～一木努コレクション～」

期 間 平成21年1月4日(日)～3月1日(日)

内 容 一木努氏が収集した建物のカケラが喚起する記憶(物語)を共有することで、歴史的建造物や伝統的街並み保存のあり方について考えるきっかけを提供する。

入園者 31,259人

⑤「桜を愛でる～花見の今昔～」展

期 間 平成21年3月20日(金・祝)～5月31日(日)

内 容 江戸期以来の花見の名所、小金井にちなんで花見の歴史や桜をモチーフにした着物や工芸品などを紹介する。

入園者 13,872人(3月20日～31日・平成20年度分)

(3) 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「子どもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、冬「はらっぱ大会」などの各イベントを行った。

①「子どもの日イベント」

内 容 買い物ゲーム、泥団子づくり、チャンバラ、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成20年5月5日(月・祝)・6日(火・休)

会 場 園内全体

参加者数 8,344人(当日来園者)

②「七夕折り紙教室」

内 容 茅葺き民家で折り紙づくりや短冊に願い事を書き込むなどの体験講座。また紙芝居なども実施。

期 間 平成20年6月28日(土)・29日(日)

会 場 西ゾーン 吉野家

参加者数 96人

③「小暑のつどい」

内 容 朝顔、ほおづきの鉢植えの販売や浴衣の展示などで初夏の風情を再現。
期 間 平成20年7月5日(土)・6日(日)
会 場 園内ビジターセンター前及び東ゾーン子宝湯など
参加者数 2,077人(当日来園者)

④「下町夕涼み」

内 容 盆踊り、寄席、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現
期 間 平成20年8月2日(土)・3日(日)
会 場 園内全域
参加者数 12,946人(当日来園者)

⑤「体験!発見!職人さん」

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験したり見学したりする。
期 間 平成20年10月4日(土)・5日(日)
会 場 東ゾーン及び復元建造物の公開
参加者数 3,615人(当日来園者)

⑥「クリスマスリースづくり」

内 容 園内の樹木を使ってクリスマスリースをつくる体験講座
期 間 平成20年11月22日(土)・23日(日)
会 場 ビジターセンター、田園調布の家
参加者数 46名

⑦「正月飾りづくり」

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座
期 間 平成20年12月6日(土)・7日(日)
会 場 東ゾーン プレハブ
参加者数 109人

⑧「正月遊び」

内 容 書き初め、餅つきの実演など正月ならではの催しを実施。
期 間 平成21年1月4日(日)・5日(月)
会 場 園内全体
参加者数 2,589人(当日来園者)

⑨「はらっぱ大会」

内 容 ベーゴマ大会、チャンバラ大会、足湯、いろりでの湯茶のサービスを実施。
期 間 平成21年2月7日(土)・8日(日)
会 場 東ゾーン はらっぱ
参加者数 3,013人(当日来園者)

⑩「春先キモノ日和」

内 容 「和の装い」をテーマに着物の着付けサービスやふろしき体験講座、着物販売などを行う。
期 間 平成21年3月21日(土)・22日(日)
会 場 園内全体

参加者数 3,482人（当日来園者）

⑪伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 桐箆笥、鍛金、江戸扇子、鋳工芸、竹工芸、東京仏壇、木工（建具）、染色補正、漆工芸、草木染手織物、江戸木箸、市松人形、江戸独楽、村山大島紬、東京手描友禅、型紙彫刻、江戸鼈甲、江戸木彫刻、江戸象牙彫刻、鼈甲、つまみ簪

期 間 平成20年4月～21年3月のうち24日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

観覧者数 当日入園者（30,922人）

⑫綱島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、干し柿、大根干し、小正月・繭玉飾り、節分

期 間 年8回 平成20年4月～21年3月のうち83日間

会 場 江戸東京たてもの園 綱島家

(4) まちづくり

① まちづくり計画

下町中通りを中心に臨場感あふれる街並みとなるよう修景計画を立案、実施。ボランティアによる洗濯物の干しと取り込み、鉢植えを中心とする植栽、カンバン、ハリガミの掲示を実施した。

② ボンネットバスの運行

毎月2回／1回につき4便

(5) 学校連携事業

「藍の育成と藍染め体験」「昔の暮らし体験」「ひじろっ子（子どもボランティア）」「教員研修」「教員初任者研修」「校外学習」「職場体験」を実施した。

① 藍染め体験

建染めを行い、染色体験をした。

参加校：14校

② 昔の暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、雨戸の開け閉めなどを体験するほか、昔の道具探しなどを実施した。

参加校：61校

③ 子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数：83人

④教員研修

小金井市、国分寺市、小平市、西東京市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数：80人

⑤教員初任者研修

小金井市、小平市の教員初任者に対して、3日間の学校外活動（ボランティア活動）として、当園ボランティア活動に体験参加した。

参加人数：8人

⑥校外学習

中学生が各自テーマに沿った調べ学習を行った。

参加人数：18人

⑦職場体験・職場訪問

中学生が職場を訪れ、体験やインタビュー等により、仕事について学んだ。

参加人数：22人

(6) たてもの園でのその他事業

①ビジターセンターの導入展示

・「桜写真展」

平成20年3月25日（火）～4月6日（日）

観覧者数3,976人（内、平成20年度分は2,259人）

・写真展「中央線の桜 東京編～瀬戸豊彦作品展～」

平成20年4月8日（火）～20日（日） 観覧者数651人

・第13回東京国際スリーデーマーチ関連展示「逢いたくば～ブラジル移民百年の肖像」

平成20年4月22日（火）～5月6日（火・休） 観覧者数1,296人

・「第6回小金井公園・たてもの園桜写真展」

平成20年5月13日（火）～25日（日） 観覧者数769人

・「たてもの園導入展示」平成20年6月10日（火）～8月10日（日）

②園内でのコンサート

・前川邸サロンコンサート 平成20年6月1日（日）、10月26日（日）

参加者数81人

・TOKYO ミュージックマラソン音楽祭 in 江戸東京たてもの園

平成20年9月27日（土） 参加者数100人

・都民の日邦楽・洋楽子宝湯コンサート 平成20年10月1日（水）

参加者数120人

③その他

・たてもの園昆虫教室

前期：平成20年7月24日（木）～27日（日）

後期：平成20年8月21日（木）～24日（日）

参加者数184人

・秋のこがねい衣食住散歩（小金井市との共催） 平成20年11月1日（土）

入園者数1,607人

・ふれあいこどもまつり「貴央おんちゃんの春夏冬昔話・シローおじさんの人形劇」

平成20年11月3日（月・祝） 参加者数320人

1.2 調査・研究

(1) 年間特定研究

年間特定研究の成果は、シンポジウム「江戸の水害 ―被害・復興・対策―」で発表した。

① 本所深川地域研究「隅田川流域の歴史と文化」

小澤弘・市川寛明・米山勇・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇

② 浅草地域研究「浅草と隅田川」

小澤弘・行吉正一・近松鴻二

(2) 共同研究

① 「狩野文庫の共同研究」（東北大学・附属図書館）

小澤弘・市川寛明・近松鴻二

② 「比較都市研究 江戸と大坂」（大阪歴史博物館）

小澤弘・市川寛明・田原昇

③ 「CGによる日本橋地区の町並み景観復元」（東京電機大学高橋研究室）

小澤弘・市川寛明・米山勇・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇

④ 「紀州徳川家江戸中屋敷奥向梅之間に関する共同研究」（和歌山県立博物館・和歌山市立博物館・国文学研究資料館）

小澤弘

⑤ 「江戸名所百人美女の調査研究」（ポーラ文化研究所）

小澤弘・小山周子

⑥ 「若狭野浅野家文書調査」（徳川林政史研究所・たつの市立龍野歴史文化資料館）

市川寛明・田原昇

⑦ 「江戸町方書上のフルテキストDBの制作」（江戸東京博物館友の会）

市川寛明・横山遼

(3) 基盤研究

① 大伝馬町名主馬込家文書の研究（高山慶子）

② 「(黒楸之者頭) 勤方諸心得控」の研究（田原昇）

③ 館蔵喜多川周之コレクションの基礎研究（行吉正一）

④ 館蔵錦絵の調査（小澤弘・小山周子）

⑤ 館蔵地図（近代）の調査（近松鴻二）

⑥ 館蔵絵本の調査（小澤弘）

- ⑦三島邸に関する研究（米山勇）
- ⑧野外博物館における街並み演出の方法について（米山勇）
- ⑨川村清雄関係資料の調査（市川寛明・落合則子）

(4) シンポジウムの開催

①「江戸の水害 ―被害・復興・対策―」

「江戸の水害」をテーマに、「江戸の三大水害」の一つとされる「寛保の大水害」を中心に、その被災状況と復興過程、および幕府の水害対策などといった諸点について考察した。

開催日 平成21年3月14日（土）
 会場 江戸東京博物館 ホール
 参加人数 196人
 内容 石山秀和（講師）「寛保水害における江戸の被災状況について」
 橋本直子（葛飾区郷土と天文の博物館）「利根川の治水と東京低地の水害」
 市川寛明（学芸員）
 「津軽藩江戸屋敷における寛保水害の被災状況と復興過程」
 松村博（㈱ニュージェック）
 「両国橋の構造と水防―寛保2年の流失と復旧工事」
 田原昇（講師）「寛保大水害以後の幕府水防体制と「鯨船」」

②シンポジウム関連パネル展「東京の水害 ―川と水とのかかわり―」

シンポジウムの関連企画として、明治43年（1910）8月の洪水を中心にパネル展示を開催した。

期間 平成21年2月24日（火）～3月22日（日）
 会場 江戸東京博物館5階 常設展示室内第2企画展示室出口

(5) 書籍の編集・刊行

①『調査報告書』第20集増補改訂版の刊行

平成19年3月31日までに収集した地図・絵図類のうち、江戸時代に作成された絵図627点、複製絵図90点を加えた717点の館蔵地図目録。

名称 『館蔵地図目録Ⅰ 江戸の地図』
 発行年月日 平成21年3月31日
 発行部数 1,000部
 構成 第1部 江戸の地図 原図と詳細複製図
 第2部 江戸の地図 近代印刷技術による複製図

②『調査報告書』第21集の刊行

江戸の草分名主である馬込勘解由の家に伝わった「大伝馬町名主馬込家文書」は、刷物2点を含む186点の古文書から構成される。平成11年度に収蔵された館蔵資料の翻刻と目録、及び論考を収録。

名 称 『大伝馬町名主の馬込勘解由』
発行年月日 平成21年3月31日
発行部数 1,000部
構 成 高山慶子「大伝馬町名主馬込家文書と関連資料について」
高山慶子「大伝馬町の馬込勘解由」
大伝馬町名主馬込家文書目録
資料翻刻

③『研究報告』第15号の刊行

平成20年3月に開催されたシンポジウム「太田道灌と城館の戦国時代」をはじめとする江戸東京博物館で行った研究成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館研究報告』第15号を刊行した。

名 称 『東京都江戸東京博物館研究報告』第15号
発行年月日 平成21年3月31日
発行部数 1,500部
構 成
I. 東京都江戸東京博物館シンポジウム「太田道灌と城館の戦国時代」
シンポジウム開催趣旨
シンポジウム関連事業記録
峰岸純夫(東京都立大学名誉教授)
「戦国時代の関東－享徳の乱から三つ巴の争覇のなかの城郭」
谷口栄(葛飾区郷土と天文の博物館)「葛西城と古河公方足利義氏」
浅野晴樹(埼玉県教育局生涯学習文化財課主幹)
「後北条氏の城－合戦と支配－」について
齋藤慎一(学芸員)「太田道灌と江戸城」
都築恵美子(練馬区教育委員会郷土資料調査員)
「石神井城跡と練馬城跡の発掘調査成果」
生田周治(調布市郷土博物館学芸員)「深大寺城の調査」
II. 資料紹介
岡塚章子(学芸員) 小川一眞撮影「凌雲閣百美人人工着色写真アルバム」に
ついての考察
近松鴻二(学芸員)「登科録」

(6) 研究会の開催

調査研究活動の成果を発表するため、研究会を8回開催した。

テーマ	開催日	発表者
新出「江戸の地図」について	4月4日(金)	高山慶子(講師)
スペインの博物館と浮世絵研究の現状	6月20日(金)	小澤弘(教授)
小林清親について	8月15日(金)	石井美佳(インターン)
平成20年度パリー東京キュレーター交換プログラム報告 セルヌスキ美術館などフランスの美術館について	9月26日(金)	岡本純子(学芸員)
岡山後楽園について	10月23日(木)	横山遼(インターン)
川村清雄資料について	平成21年2月20日(金)	落合則子(学芸員)
CG 江戸の町並み復元(経過報告)	2月25日(水)	東京電機大学 高橋研究室院生
大阪歴史博物館と共同研究会 ・大阪相撲と江戸相撲 ・出土資料で比較する大坂と江戸 ・江戸絵と上方絵-百景を中心に-	3月6日(金)	飯田直樹(大阪歴博) 豆谷浩之(大阪歴博) 小澤弘(教授)

(7) インターンの受入れ

インターン制度を導入し、調査研究活動を推進した。

- ①「江戸町方書上のフルテキストDBの制作」 横山遼(お茶の水女子大学大学院生)
- ②「館蔵喜多川周之コレクションの基礎研究」 石井美佳(実践女子大学大学院生)

(8) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込み数 34校
受入者数 19名
期 間 8月18日(月)～8月29日(金)

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月18日 (月)	午前	【オリエンテーション】 室長挨拶・概要説明・館内外動線 及び主要施設案内・自己紹介	講義・見学	都市歴
		午後	【オリエンテーション】館長挨拶	講義	都市歴
			【施設管理】博物館の施設管理	講義・見学	管理係 ・都市歴
			【広報活動】博物館の広報活動	講義	事業推進係
2	8月19日 (火)	午前	【ボランティア・友の会】ボラン ティア、友の会の活動と運営	講義	展示事業係
			【図書室の運営】 図書室・図書資料の概要と見学	講義・見学	都市歴
			【常設展示(1)】常設展示につ いて	講義	展示事業係
		午後	【常設展示(2)】常設展示の見学	見学	展示事業係
			【特別展】 特別展の概要、見学	講義・見学	展示企画係
3	8月20日 (水)	午前	【資料収集】資料の収集	講義	展示事業係
			【資料管理】資料の管理と修復	講義	
		午後	【収蔵庫】バックヤード見学、 資料のクリーニング	見学・実習	展示事業係
			【展示・広報実習(1)】 展示・広報実習の説明 課題資料の割当て	講義	都市歴
4	8月21日 (木)	全日	【展示・広報実習(2)】 資料の収集・取扱い	実習	実習PT
5	8月22日 (金)	午前	【博物館の現状】	講義	都市歴
		午後	【図書室】図書資料の概要、 図書室の運営と利用法	講義	
6	8月25日 (月)	午前	【たてもの園】たてもの園の概要、 江戸東京たてもの園の学芸業務 建造物の解体と移築復元	講義	たてもの園
		午後	【たてもの園】 建造物内の演示品整理	実習	
			【たてもの園】 教育普及事業、地域との連携、 たてもの園のボランティア	講義	
7	8月26日 (火)	午前	【たてもの園】 ボランティア活動体験	実習	たてもの園
		午後	【たてもの園】 園内建造物見学	見学	
			【たてもの園】 学校連携の実際	講義	
			【たてもの園】 たてもの園の展示	講義・見学	
8	8月27日 (水)	午前	【展示・広報実習(4)】 基本計画批評	実習	実習PT
		午後	【展示・広報実習(5)】 基本計画修正、展示準備		

9	8月28日 (木)	全日	【展示実習】 展示作業、展示の批評、記念撮影	実習	実習PT
10	8月29日 (金)	午前	【広報実習】 広報企画について	講義	事業推進係
		午後	【広報実習】 展覧会チラシ作成、 批評	実習	実習PT
			【学芸員実習のまとめ】	講義	都市歴

(9) その他の研修受入れ

- ①東京都教職員10年目研修 平成20年7月23日～25日 (5名)
- ②首都大学東京現場体験型インターンシップ 平成20年9月10日～12日 (3名)
- ③東京未来塾(東京都教育庁) 平成20年6月7日 (50名)
- ④都立一橋高校連携授業 前期2回、夏期2回、後期2回 (45名)

(10) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

平成18年度から、都内中学校で要請があった学校からの「職場体験」の依頼にも対応を始め、主に常設展示室の体験コーナーでの昔遊び実演補助などの体験機会を提供している。

①訪問学習の実施

博学ボランティア(11名)による歴史学習への対応

参加人数 871人

参加学校数 84校(小学校1、中学校79、高等学校3、大学1)

②職場体験の実施

参加人数 19人

参加学校数 6校(中学校)

1.3 子ども居場所作り「武蔵野えどまる団」(分館)

文部科学省が推進している「地域子ども教室推進事業」の一環として始まった、“遊び”を軸にし、江戸東京たてもの園のボランティアや近隣のサークル、大学生などの地域諸団体と連携し、〈子どもの居場所〉作りとして下記の活動を行った。

内 容

指令42 平成20年 4月 愛タウンをつくろう

指令43 5月 風雲えどまる城～王国騒乱大チャンバラ大会～

指令44 6月 かえっこバザール(雨天のため中止)

指令45 7月 ガンガン THE 盆踊り

指令46 8月 打ち水大作戦

指令47 9月 風雲えどまる城～夏の陣～

指令48 10月 えどまるンピック

指令 49	1 1 月	落ち葉プール
指令 50	1 2 月	風雲えどまる城～決戦小出ヶ原の巻
指令 51	平成 2 1 年 1 月	大カルタ大会
指令 52	2 月	風雲えどまる城～冬の陣～
指令 53	3 月	えどまる本舗～スプリング・セール～

1 4 常設展正月クイズ大会

常設展示室の大型模型について、解説を含んだクイズを数問出題し、江戸東京の魅力を楽しく学ぶ企画を実施した。

名 称	「2009年お正月、クイズで遊ぼう！江戸東京博物館」
期 間	平成21年1月2日～1月4日（3日間開催）
場 所	常設展示室
参加人数	457人

1 5 両国協力会等による地域活性化の推進

両国協力会は、両国を地盤とする地元企業、施設が、両国の活性化と未来の両国を考え、さまざまな活動を展開していく自主的な任意団体である。両国の魅力を多くの人に伝えるため、平成20年度は、国技館通り、国技館、回向院、江戸東京博物館3Fひろばなどでの「両国にぎわい祭り」開催と周辺のお食事処を掲載した「両国にぎわいマップ」を制作した。

(1) 両国協力会構成団体

東京水辺ライン、JR両国駅、都営大江戸線両国駅、第一ホテル両国、回向院、東京東信用金庫、パールホテル両国、国技館サービス、日本相撲協会、両国アクアハウス江戸遊、ザ・ホテル ベルグランデ、チムニー、東京都江戸東京博物館

(2) 第6回両国にぎわい祭り

期 日	平成20年5月3日(土・祝)～5月4日(日・祝)
会 場	国技館通り、国技館、回向院、江戸東京博物館3階ひろば
主 催	両国にぎわい祭り実行委員会
後 援	墨田区、墨田区文化観光協会、読売新聞 東京本社
特別協賛は省略	
協 賛	東京東信用金庫、アサヒビール株式会社、鹿島建設株式会社、日本通運株式会社隅田川グローバル・ロジスティクス支店、チムニー株式会社
協 力	総合警備保障株式会社、日通航空、株式会社伊藤園、株式会社ムラヤマ、株式会社カクヤス、鹿島建設総合管理株式会社、ライオン株式会社、キンビバレッジ株式会社、北斎まちづくりの会、ちゃんこ道場
内 容	ちゃんこミュージアム、大江戸ダンス、雅楽演奏、相撲体験コーナー、

相撲甚句、フリーマーケット、両国ぶらり散歩ツアー、など
 入場者 約66,000人

(3) 両国にぎわいマップ制作

企画・制作 両国協力会
 発行 NPO法人 墨田川・江戸文化観光振興会
 発行日 平成21年1月
 発行部数 200,000部
 掲載店数 113店舗（うち写真入り39店舗）
 配布場所 JR両国駅・国技館・江戸東京博物館をはじめとする両国協力会各社と
 マップ掲載店

(4) たてもの園協力会

ボランティアや地元商店の協力により、催事や土曜日祝日に飲食のサービスや物販の販売を行った。

16 広報・出版

(1) 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内パンフレット	日本語版 392,000部 英語版 36,000部 ドイツ語版 10,000部 中国語版 18,000部 ハングル語版 17,500部 スペイン語版 3,000部 フランス語版 20,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	年4回発行 延280,000部
取材対応		418件 ※申請件数に基づき取材対応を行った件数
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版 キッズサイト	アクセス件数 11,110,202件
メールマガジンの 配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 (21年3月現在) 延60,102通
広告の掲載	すみだTOWN情報紙アベニュー 「博物館研究」	年12回掲載 年12回掲載

(2) 分館

種 別	名 称	実 績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	約 160,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延 70,000部
	イベント案内	年4回 延 380,000部

開館からの入場者数の推移

年度	5	6	7	8	9	10	11
本館	3,087,065	2,042,040	1,599,808	1,465,362	1,199,943	1,317,964	1,217,624
常設展	2,647,714	1,734,764	1,349,527	1,165,648	989,394	951,756	850,151
特別展	439,351	307,276	250,281	299,714	210,549	366,208	367,473
分館	245,401	161,142	166,540	202,559	169,941	158,234	158,981
合計	3,332,466	2,203,182	1,766,348	1,667,921	1,369,884	1,476,198	1,376,605

年度	12	13	14	15	16	17	18
本館	1,173,473	1,463,642	1,499,051	1,586,603	1,531,097	1,190,458	1,817,934
常設展	835,233	889,188	868,001	1,041,436	860,258	790,066	1,067,226
特別展	338,240	574,454	631,050	545,167	670,839	400,392	750,708
分館	169,486	257,729	272,503	360,094	257,249	265,528	258,167
合計	1,342,959	1,721,371	1,771,554	1,946,697	1,788,346	1,455,986	2,076,101

年度	19	20
本館	1,537,774	1,482,456
常設展	887,650	874,312
特別展	650,124	608,144
分館	258,064	234,350
合計	1,795,838	1,716,806